

「PCB化学処理を推進」 - OSD法 / 親会社の計画に協力 -

原子燃料工業(本社 = 東京都港区、菊地幸司社長)は、新規事業の一環として、PCB(ポリ塩化ビフェニール)の化学処理事業に力を入れていく。今後の事業化に向け、当面、化学処理技術の改良などに重点を置く方針。具体的には、親会社である住友電気工業、古河電気工業が行う予定の自家処理への協力を行うほか、経済性向上を狙った技術開発を進める構え。